

⇓ 若年性軽度認知症・高次脳機能障害デイケア  
(介護保険非適用)

- ⇓ 地域学童保育
- ⇓ ケアマネジメントセンター
- ⇓ 土曜日プログラム
- ⇓ ソーシャルスキルトレーニング
- ⇓ペアレントトレーニング
- ⇓ 認知症介護相談事業(カフェ事業)

まどか \* 円 \* えん \* 縁 \* えにし \* 縁 \* えん \* 円 \* まどか

春です。

新しい出会いと、旅立ちの春です。反面、別離の春でもあります。

夢や希望や喜びといった、無形の不確実な価値が曖昧になっている現代です。全ての価値が貨幣に換算されてしまう今日。どんな世代や立場の人たちにも、無意識のうちにそういった価値観が浸透してしまっています。

だからこそ、自分も「良い暮らし」がしたいし「人から良く思われたい」という欲望が先走るのでしょう。油断していると『下流』で『プア』な人間になり、同階層のパートナーにしか巡り会えず、不幸な人生になってしまうという、ステレオタイプな押しつけが氾濫していて、今どき!?今さら!?感がして、がっかりしてしまいます。

それでいて「一人一人の個性を大切にしましょう」等と矛盾したきれいな事を言うのですから、一般大衆はいつも戸惑ってしまいます。

個人の価値、社会の価値とは何か、どうすれば人が人として自分らしく生きていける社会になるか、プアでなく『クール』なそれぞれの生活を支援していく方策と技術を、今も、これからも私達は追い求め、習得していきたいと思っています。

28年度も、よろしくお願い致します。

## 28年度のまどか

前期

後期

27年度に引き続き、こどもから高齢者まで、幅広い年代のさまざまな課題に取り組んでいきます。

中でも、近年の保育所待機児童に代表される子育て支援が、事業の主体になりつつあります。学童保育については、1年生から6年生まで、総数27名程度を目安に受け入れていきます。それ以上のニーズがあるものの、設備やスタッフ配置の関係で、これ以上は対応できません。最近の学童保育は「3・4年の壁(受け入れ先と受入数の減少)」と「特別支援の壁」が顕著です。他の事業所の動向も見極めながら対応していきます。

ケアマネジメントをはじめとする相談事業も継続的に促進しますが、自殺予防対策モデル事業の助成については、28年度は見送り、自主事業として継続する予定です。

認知症ケア及び各種ワークショップ事業についても、従来どおりのペースで取り組んで参ります。

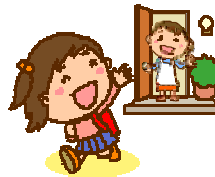
全てのニーズに対して、常にゲートを開いておくスタンスは、従来どおり変わりません。また、事業所は6月末迄に移転が必要ですので、近日中に移転先を確定させ、5月の連休に移転できるように検討中です。

## ボランティア



まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。  
ともに地域福祉を拡げていきませんか？  
遊びや学習の支援、片道5分程度で車による児童の送迎ができる方、お待ちしております。  
お気軽にお問い合わせください。

## 学童保育部門



料金体系を改定します。

2月に開催された理事会で、学童保育の利用料金改定について審議され、下記概要の通り改定することとなりました。総会前ですが4月より適用することとします。

	改定前	改訂後
月額	5,000円	6,000円
スポット(1回)	1,200円又は 1,000円	1,200円
学期中 半日授業日	1,200円又は 0円	1,500円又は 1,000円
長期休暇期間中(1回)	2,000円又は 1,200円	2,000円 1,500円

特別支援学童保育も行っています。バリアフリー環境が必要のない児童には対応できます。ご相談ください。

## まどか土曜日プログラム&SST 今後の予定



毎回好評の土曜日プログラム。SSTやペアトレの今後の予定は下記の通りです。  
気になるプログラムがあれば、お気軽にお問い合わせください。

4月 9日	管理栄養士 菊池みどり講師の栄養教室
6月	作業療法士 浅井講師の、初夏にぴったりスイーツ
8月	夏休み自由研究支援プログラム
9月	アロマインストラクター 須崎講師のアロマセラピー
10月	作業療法士 松本講師の簡単おやつ作り
SST	講師の先生と相談しながら、定期的を開催していきます。 日程並びに内容については、各回個別にアナウンスしていきます。
ペアトレ	



ケアマネジメントセンター

専用電話 090-2228-6117

介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業所との連絡調整を行います。



社会福祉法人 はまぎくの会 多機能型サービス事業所 ハートケアセンターひたちなか  
職業指導員・作業療法士 松本純一 さん (第十六号の続き、後半を掲載します)

私もそうですが仕事を続けるということはとても大変なことです。何のために仕事をするのか、お金のためか、やりたいことのためか、障害の有無にかかわらず考えてしまう問題だと思います。支援する施設の側としてもただ目の前に求人があるから就職の手伝いをするというより、その方一人一人の今後の生活に合わせて就職先を一緒に考える、また、出来る作業はどんなことがあるか考えていく必要があると感じています。

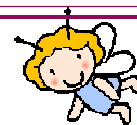
また、就職者が増える一方で一般就労に就けないメンバーの作業工賃をどのようにして増やしていくか考えていかなければなりません。障害の程度に左右されず、安定した作業工賃を支払うためにも障害の特性やこれまでの社会経験を理解し、作業に導入ができる専門職員の必要性を感じています。

今後、障害を持った方が地域で生活しやすくなるための施策が増えると思います。そうした施策が増えることはうれしいことですが、「障がいを持った方が就職しやすくなった」と考えるか「障がいを持った方が自分の人生をどう生きていくか考えやすくなった」と考えるか、支援をする側も理解して支援する必要があると私は考えています。そうした視点を持ちながら今日もメンバーと一緒に作業をしています。

松本さんは、まどかの『土曜日プログラム』で、年1回、いろいろな食材を使ったスイーツ作りを、作業療法のスキルを活かして講義・実演してくださっています。

(尚、商品等のお問い合わせは、まどかまでご連絡ください)

## 若年性認知症相談 & 認知症カフェ事業



カフェ事業  
介護相談事業



認知症介護相談事業を行っています!!  
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。

専用電話 029-867-5233



居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援です

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなど、いわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。詳しくはお問い合わせください。

## まどか サポーター総会(法令における社員総会)のご案内

28年度のサポーター総会を6月11日(土曜日)午後に行う予定にしています。

日程は、都合により前後の土曜日に変更する可能性があります。また、場所については、移転先になると思われませんが、今のところ未定です。詳細が決まり次第、再度ご案内いたしますが、ご出席又は、委任状のご提出をよろしくお願いたします。

- <総会の主な議題>
- 平成28年度「事業計画案」「予算案」の審議
  - 役員改選
  - 平成27年度「決算案」の審議
  - その他、運営状況、利用料金等についての審議並びに質疑応答

## まどかサポーターの継続と年会費のご納入のお願い



まどかのサポーター会員の方を募集しています。社会にある、福祉問題に関心がある方、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。小さな地域の輪が、いずれ大きな運動につながることを確信して・・・継続が力です。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・・・・・・・・年会費 5千円

準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

( 28年 2月 現在 正会員 49名 準会員 23名 )

会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。



## 児童用図書やコミック・ゲーム・消耗品等のご寄付のお願い


ご家庭に眠っている、貴重な宝物を、まどかで是非活用させて下さい！皆さんの善意で成り立っているまどか、何でも構わないので、心当たりがあったらご連絡ください。折り紙の残り物、コミック、古い文房具、電化製品などなど。これから、事業所移転に向けて必要になるものもあるかもしれません。お心当たりがありましたら、ご連絡ください。



\*\*\* ゆめのあとさき ~編集後記~ \*\*\*

社会的サービスへのニーズは高まる一方です。制度の担い手がないから、ボランティアやNPOに期待するんだそうです。その期待は、費用が安くすむからなんだそうです。専門性がないから安くて良いのだそうです。専門性があるはずの事業所で発生している多くのあり得ない事故事件を、どの様に説明するのでしょうか。『サアヴィスとは、愛想顔、ご機嫌取りの意味ではなく、毅然とした精神に基づくものだ』と、内田百間は、著書「春光山陽特別阿房列車」の中で記述していますが、その通りだと思います。毅然とした精神は、むしろNPOスタッフの方が勝っている場合が多く、そういう認識を持たなければ、福祉のインフラは強化されないという事に、いつになったら気がつくのでしょうか。もっとも、気がついた頃には、政治も行政も、担当が交代してしまうから、永久に無理なのですかね。

文責 理事長 渡辺隆生 ( つくば国際大学講師 社会福祉士 )

NPO法人 まちなか交友館  
 まどか

特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒 300-4231 茨城県つくば市北条51-1  
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118  
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>  
利用条件等はホームページでご確認ください